



KIKOREL

導入マニュアル

BOOK 01 / 代理店の導入担当者・責任者

必要な冊子から、画面を見ながら進める。

対象：Hub 0.11.62／iPhone・iPad 1.0（ビルド53）

改訂：2026年10月10日 v1.2 接続の操作手順を簡潔に整理

目次（クリックで移動）

- | | | | |
|-----------|------------------------|-----------|------------------------------|
| 02 | 導入の全体像 | 10 | Windows Tailscaleを接続する |
| 03 | 導入前の準備 | 11 | iPhone・iPad Tailscaleを接続する |
| 04 | MacにHubをインストール | 12 | 初回だけ HTTPSを有効にする |
| 05 | Windows・iPhone・iPadへ導入 | 13 | 接続を準備し、最初の端末を追加 |
| 06 | ダウンロードとコードの使い分け | 14 | 利用開始前の受入チェック |
| 07 | 利用開始コードでこのPCを登録 | 15 | つながらない時 4つだけ確認 |
| 08 | ログインするアカウントと参加先 | 16 | PC入れ替え時の接続手順 |
| 09 | Mac Tailscaleを接続する | | |

注意・確認

KIKOREL画像は説明用・既存の検証画面。Tailscaleは公式参考画面と説明図です。各図の出典・版を確認。導入先の実機接続試験は別途必要です。

導入の全体像

PCのHubが保存・処理を担当し、iPhone・iPadが面談録音と個人別の確認を担当します。

Hub登録

Tailscale接続

初期設定

本人用QR

転送確認

1 | 管理者を決める

Hubを置くPC、利用者ID、営業所、承認担当者、原音の保管ルールを決めます。

2 | PCを登録する

最新版Hubを入れ、販売元から受け取った利用開始コードでこのPCを登録します。

必須 | Tailscaleを準備

HubのPCとiPhone・iPadすべてにTailscaleを入れ、同じ代理店のtailnetへログインして接続します。詳しい設定はこの冊子の追加章を参照。

3 | 設定して端末を接続

文字起こしモデル・取扱会社・方針を、別冊「導入後の設定マニュアル」で設定します。その後に利用者ごとのQRで端末を接続します。

4 | 架空面談で一連確認

同意、録音、転送、報告書、別担当者による承認、出力を確認してから実務へ進みます。

注意・確認

販売元の顧客・入金管理アプリは、代理店が操作するHubとは別です。この冊子は代理店向けです。

導入前の準備

インストールだけでは利用開始になりません。登録、保存先、接続、承認体制まで用意します。

項目	準備・確認するもの
PC	Mac版または販売元が案内するWindows版。電源と十分な空き容量を確保。
端末	iOS／iPadOS 17以降に対応したiPhone・iPad。端末ロックとOS更新を適用。
登録	本人用のHub利用開始コード。通常コードは24時間・1回限り。紹介コードとは別。
ネットワーク	PC・端末すべてにTailscale。代理店tailnet参加、HTTPS準備、接続と転送の試験。
役割	利用者ID・氏名・営業所ID・責任者の管轄営業所。
情報管理	原音の保存場所、バックアップ、閲覧権限、社内の個人情報取扱ルール。

PCの保護

MacはFileVault、WindowsはBitLocker等のディスク保護を社内方針に従って確認します。

既存版がある場合

保存先と過去の記録を先に確認し、バックアップ後に更新します。フォルダを勝手に移動・削除しません。

注意・確認

個別PCの処理速度・空き容量・社内ネットワーク制限は導入時に確認してください。長時間音声の処理時間は保証値ではありません。

MacにHubをインストール

販売元から案内された署名・公証済みのDMGを使います。

Hub 0.11.62登録UIの検証画面（2026/10/9）。架空代理店・試験用の登録結果。

1 | 正式な配布物を取得

下記「Mac版0.11.62」のリンク、または販売元の最新版案内から取得します。

2 | Applicationsへ入れる

DMGを開き、KIKOREL Hub.appをApplicationsへドラッグします。既存版の更新前は処理完了を待ち、バックアップしてHubを終了します。

3 | アプリアイコンから起動

ApplicationsのKIKOREL Hubを開き、利用登録画面へ進みます。登録後は「Hubを使い始める」で管理画面を開きます。

注意・確認

署名・公証やセキュリティの警告が出た場合は、保護機能が無効にせず販売元へ確認してください。画像は登録完了後の例です。

Windows・iPhone・iPadへ導入

端末アプリとPCのHubは役割が異なります。利用する機器に合ったものを入れます。



iPhone検証画面：1.0／ビルド51（2026/10/3）。手順は1.0／53のソースと照合。

Windows | 正式な配布案内から導入

販売元が案内するWindows版を入れ、スタートメニュー等からKIKOREL Hubを開きます。既存版の更新前はバックアップし、Hubを終了します。

Windows | 起動後の確認

案内された版であること、保存先、過去データ、利用登録を確認します。MSIXとEXEを自己判断で重ねません。

iPhone・iPad | App Store

App StoreでKIKORELを入れます。本人の利用者情報をHubに設定し、端末アプリの「保存先設定」でQR接続します。インストールだけでは接続完了ではありません。

注意・確認

ダウンロード案内とリンクは次ページにまとめています。端末のカメラ・マイク権限は、用途を確認して必要な時だけ許可します。

ダウンロードとコードの使い分け

配布状況・URLは変更されるため、利用時にも販売元の案内を確認してください。

項目	用途
Mac Hub	PCへのインストール。0.11.62のDMGリンクは下記。
Windows Hub	販売元の正式な配布案内から取得します。
iPhone／iPad	同じApp StoreのKIKORELを使用。
利用開始コード	Hubを置くPCの初回登録・PC入れ替え用。
ペアリングQR	iPhone／iPadをHubへ接続。5分・1台につき1回限り。
紹介コード	申込時に紹介者を指定するためのコード。Hubの登録には使わない。

iPhone／iPadの公式ストア

<https://apps.apple.com/jp/app/kikorel/id6806960855>

Mac版0.11.62

https://drive.google.com/file/d/1gntwnly7WivbSMZTR7koJBbhCGn2_CLl/view?usp=drivesdk

注意・確認

利用開始コード、本人用QR、紹介コードは用途が異なります。コードやQRを他の人へ共有しません。配布物の更新は販売元の案内を確認してください。

利用開始コードでこのPCを登録

先に登録を済ませてから、Hubの受信・処理・端末追加を使い始めます。

KIKOREL HUB

利用登録

未登録・利用開始前

このPCの登録を済ませてから、Hubを使い始めます。

1 コード入力

2 登録確認

3 利用開始

最初に行う手続き

このPCを登録してください

登録が完了するまで、録音受信・文字起こし・報告書作成・端末追加は利用できません。

販売元から受け取った登録コード

表示

初回または新PCへの入れ替え時だけコードを入力します。人数・料金変更で再入力は不要です。

☐ 契約確認のため、PCの識別情報・利用人数・端末数・月別受信件数・アプリ版を販売元へ送ることを確認しました。

録音・文字起こし・顧客名・報告書本文は送信しません。

このPCを登録する

コードがない・期限切れの場合は販売元へお問い合わせください。この操作だけで新たな課金は始まりません。

Hub 0.11.62登録UIの検証画面（2026/10/9）。架空代理店・試験用の登録結果。

1 | コードを貼り付ける

販売元から受け取った本人用の登録コードを入力します。通常は発行から24時間・1回限りです。

2 | 送信する情報を確認

PCの識別情報・人数・端末数・月別受信件数・アプリ版の送信説明を確認し、同意欄をチェックします。録音・文字起こし・顧客名・報告書本文は契約確認の送信対象外です。

3 | 登録結果を確認

「このPCを登録する」を押し、代理店名・人数・端末上限が正しいことを確認。「Hubを使い始める」で進みます。

注意・確認

コードなし・期限切れ・使用済みは販売元へ再発行を依頼します。契約コードを他社に共有しません。未登録・停止中でも保存済み記録は削除されません。

ログインするアカウントと参加先

管理者から案内された参加先を使います。複数の担当者とパスワードを共有しません。

アカウントは本人ごと・参加先は同じ代理店

1

代理店の管理者

参加先を案内
Usersから招待
必要なアクセスだけ
接続状態を確認

2

担当者本人

招待を受け取る
自分のアカウント
通常はMember
パスワード共有なし

3

接続する機器

HubのPC
iPhone / iPad
同じtailnetを選択
承認・接続を確認

説明図：Tailscaleの権限とKIKORELの利用者ID・権限は別です。

操作を説明する図です。実アプリのスクリーンショットではありません。2026/10/10確認。

1 | 案内を受け取る

管理者にログイン方法とネットワーク名を確認します。招待リンクが届いている場合は、本人がリンクを開きます。

2 | 本人のアカウントでログイン

表示されたログイン方法を選び、本人のアカウントで認証します。HubのPCと端末が同じ参加先になっていることを確認します。

管理者 | 担当者を追加する時

管理コンソールのUsers（利用者）→Invite external users（招待）で本人のメールを入力。通常はMember（一般利用者）を選び、Invite（送信）を押します。

注意・確認

承認待ちの表示が出たら管理者へ連絡します。TailscaleのアカウントとKIKORELの利用者IDは別です。

Mac | Tailscaleを接続する

Macを使う方はこのページを進めます。Windowsの方は次ページへ進んでください。

Mac：公式取得 → VPN許可 → ログイン

1

公式から取得

tailscale.com
macOSを選択
新規はStandalone
.pkgを開く

2

導入と許可

Tailscaleを起動
VPN・拡張の許可
正規アプリを確認
案内に従う

3

接続を確認

上部のアイコン
Log in
代理店のtailnet
Connectedを確認

説明図：Mac App Store版とStandalone版を重ねて導入しません。

操作を説明する図です。実アプリのスクリーンショットではありません。2026/10/10確認。

1 | 公式サイトから入れる

<https://tailscale.com/download> のmacOSから.pkgを取得し、開いてインストールします。導入済みなら手順3へ進みます。

2 | 起動して許可する

Tailscaleを開きます。VPN構成やネットワーク拡張の許可画面が出たら、アプリ名を確認して許可します。

3 | ログインして接続する

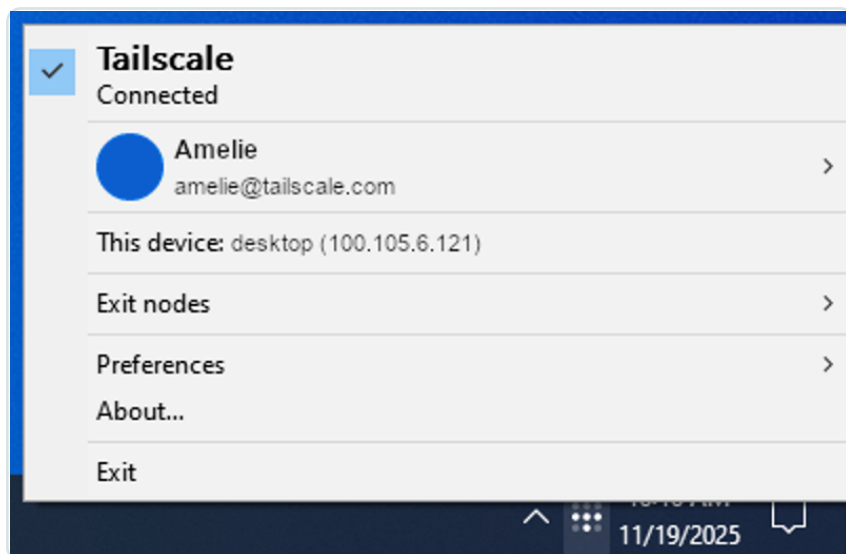
画面上部のTailscaleアイコン→Log in（ログイン）。案内されたアカウントで認証し、Connected（接続中）を確認します。

注意・確認

Tailscaleを重ねてインストールしません。すでに別の配布版が入っている場合は、そのまま接続を確認するか管理者へ相談してください。

Windows | Tailscaleを接続する

Windowsを使う方はこのページを進めます。Macの設定は不要です。



Tailscale公式Windowsガイドの参考画面。表示はアプリの版によって異なります。

1 | 公式サイトから入れる

<https://tailscale.com/download> のWindowsから.exeを取得し、実行します。導入済みなら手順2へ進みます。

2 | 右下のアイコンからログイン

通知領域のTailscaleを右クリックしてLog inを選びます。アイコンが見えなければ上向き矢印を押します。

3 | 接続中を確認する

ブラウザで本人のアカウントを認証し、Hubと端末が同じ参加先になるよう選択します。Connected（接続中）が表示されたら完了です。

注意・確認

インストール時に管理者権限が必要な場合は導入担当者へ確認します。既存のセキュリティソフトを無効にしません。

iPhone・iPad | Tailscaleを接続する

録音に使うiPhone・iPadを、1台ずつ設定します。

iPhone・iPad：初回の許可と本人ログイン

1

App Store

Tailscaleを入手
KIKORELとは別
開発元を確認
1台ずつ導入

2

初回の案内

Get Started
VPN構成追加
Allow（許可）
端末で認証

3

本人ログイン

Log in
自分のアカウント
招待された参加先
再認証通知を確認

説明図：OSの許可画面・アプリ表示は版によって異なります。

操作を説明する図です。実アプリのスクリーンショットではありません。2026/10/10確認。

1 | App Storeから入れる

App StoreでTailscaleを検索して入手し、開きます。KIKORELとは別のアプリです。

2 | VPN構成を許可する

Get Started（開始）を押します。VPN構成追加の画面でAllow（許可）を押し、端末で認証します。通知は再ログインの案内を受け取るために使います。

3 | ログインして接続する

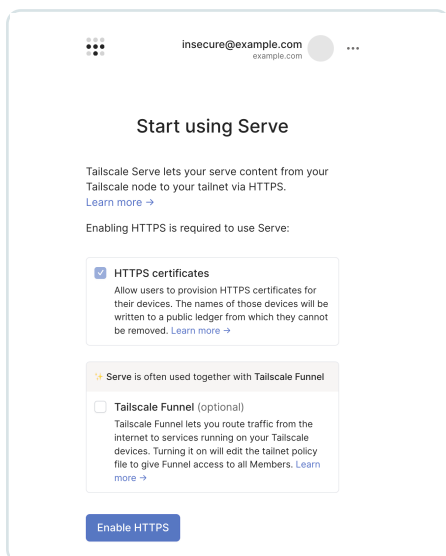
Log inを押し、本人のアカウントでログインします。Hubと同じ参加先を選び、接続スイッチをオンにしてConnected（接続中）を確認します。

注意・確認

端末の版によって表示順が変わることがあります。会社の管理制限で許可できない場合は管理者へ相談してください。

初回だけ | HTTPSを有効にする

Hubに初回設定の案内が出た場合だけ行います。設定済みなら次へ進みます。



Tailscale公式Serveガイドの参考画面。初回のHTTPS承認画面の例です。

1 | 初回設定を開く

Hubの「Tailscaleの初回設定を開く」を押します。代理店のネットワーク管理者がログインします。

2 | HTTPSを承認する

HTTPS certificatesを確認し、Enable HTTPS（HTTPSを有効にする）を押します。Funnelの選択欄がある場合は選択せず、HTTPSだけを準備します。

3 | Hubへ戻る

「接続URLを自動取得・更新」をもう一度押します。成功表示を確認してQR登録へ進みます。

注意・確認

Funnel（一般公開）はこの接続手順では使いません。端末名に顧客名を入れず、証明書警告が出た場合は管理者へ確認してください。

接続を準備し、最初の端末を追加

代理店のHubへ安全に接続する経路を、導入担当者と確認します。

STEP 3

iPhone・iPadを追加

5分・1回限り

接続情報をQRコードで安全に渡します。管理者トークンや端末トークンはQRに含めません。

このHubの接続URL

端末に表示する保存先名

https://manual-hub.example.invalid

接続URLを自動取得・更新

KIKOREL Hub

管理者が設定した接続URLを使用しています。最終確認：2026/10/10 17:21:07

この端末を使う人と権限

登録済み利用者の情報を使う（権限は下で確認）

新しい利用者を入力

有効な登録端末の利用者情報を候補に表示します。権限は自動コピーしません。

利用者ID

利用者氏名

AGENT-DEMO

説明用 募集人

所属営業所ID

OFFICE-DEMO

☒ 募集人

☐ 責任者

☐ コンプライアンス担当

☐ システム管理者

募集人は本人案件のみ、責任者は本人案件と管轄営業所、コンプライアンス担当・システム管理者は同じ保存先内の全案件を閲覧します。同じ利用者による自己承認はサーバー側で拒否します。

ペアリングQRを発行

Hub 0.11.62／Macで撮影・説明用環境（2026/10/10）。Windowsは共通UIです。

1 | Hubの接続URLを更新

PCと端末のTailscaleを接続中にしたまま、Hubの「接続URLを自動取得・更新」を押し、成功表示を確認します。

2 | 利用者を登録

「管理・設定」→「iPhone・iPadを追加」で利用者ID・氏名・営業所・権限を入力。「ペアリングQRを発行」を押します。

3 | 端末でQRを読む

端末の「保存先設定」→「QRコードで保存先を追加」で読み取り、「接続を確認」。別の端末には新しいQRを発行します。

注意・確認

画像のexample.invalidは説明専用で接続できません。実際のURLを管理者が確認してください。認証用の公開窓口と録音保存のHubを混同し、管理画面や録音を一般公開しないでください。

利用開始前の受入チェック

架空の顧客名で短い面談を行い、ここまで確認してから実顧客の面談へ進みます。

確認	合格の目安
登録	正しい代理店・人数・Hub版が表示される。
保存・接続	保存先とVPNを確認。端末の接続確認が成功する。
録音同意	説明、顧客の同意、確認者氏名が記録される。
音声	双方の声を収録でき、再生して聞き取れる。
転送	端末に「保存先への転送・完全性確認済み」が表示される。
報告書	Hubの処理完了後に対象案件・文字起こし・原音確認箇所が表示される。
責任者確認	担当者本人ではない責任者が確認・承認できる。
バックアップ	保存先と復旧手順を管理者が把握し、保護された媒体に保管する。

注意・確認

この冊子のスクリーンショットは導入先の実機合格証明ではありません。予定保存、再起動後の読込、着信・回線断・長時間録音も実機で確認してください。

つながらない時 | 4つだけ確認

PCと端末を順番に確認します。録音を消したり、最初から全部設定し直したりしません。

順番	確認すること
1 インターネット	PCと端末の両方で通信できるか。
2 Tailscale	両方とも接続中か。Hubと同じ参加先か。
3 Hub	起動中か、PCがスリープしていないか。
4 KIKOREL	正しい保存先が選ばれ、「接続を確認」が成功するか。

解決しない場合

表示されたエラー、日時、端末名を管理者へ伝えます。承認待ち・再ログイン・HTTPSの案内がある場合も管理者へ確認します。

注意・確認

パスワード・利用開始コード・QR・顧客原音を通常のチャットへ送らないでください。別のVPNを使っている場合は自己判断で設定を変えません。

PC入れ替え時の接続手順

新PCでHubとTailscaleを準備してから、端末を新しい保存先へ登録します。

PC入れ替え：データ・契約・VPNを別々に移行

1

旧PCを保護

Hubバックアップ
未送信を確認
元の記録を保持
勝手に削除しない

2

新PCを準備

Tailscaleを導入
同じtailnetへ接続
Hubの契約登録
HTTPS・URLを確認

3

再登録と確認

新PCのQRを発行
端末ごとに登録
復元・転送を照合
旧PCの権限を整理

説明図：古いURLや認証情報を自己判断でコピーしません。

操作を説明する図です。実アプリのスクリーンショットではありません。2026/10/10確認。

1 | 旧PCの記録を保護

Hubの移行バックアップを作成し、未送信録音と保存先を確認します。元の記録は残します。

2 | 新PCを接続

新PCにTailscaleを入れ、同じ参加先へ接続します。Hubを登録・復元し、接続URLを自動取得します。

3 | 端末を登録し直す

新PCから本人用QRを1台ずつ発行し、端末で登録します。過去記録と新しい録音の転送を確認してから、旧PCの接続を管理者が整理します。

注意・確認

新PCでは接続URLが変わる場合があります。古いURLや秘密鍵を自己判断でコピーしません。